

(プレスリリース)

みらか HD が Caris の病理検査事業を買収

2011 年 10 月 6 日 東京及びテキサス州アーバイン

臨床検査薬及び受託臨床検査の分野における日本最大手である みらかホールディングス株式会社（以下「みらか HD」といいます。）と、テキサス州に本店を置き、病理検査、分子プロファイリング、血液検査に基づく診断に関する最高水準の技術の開発及び商品化を主たる事業とする非上場会社である Caris Life Sciences, Inc.（以下「CLS 社」といいます。）は、本日、みらか HD が CLS 社の完全子会社である Caris Diagnostics, Inc.（以下「CDx 社」といいます。）とその子会社・関連会社の病理検査事業を買収することで最終合意に達しました。買収総額は、対象会社側の銀行借入金の返済分を含め、725 百万米ドル（ただし取引実行後に行われる一定の価格調整に服するものとします。）を予定しております。

年間売上高が 207 百万米ドルに達する CDx 社は、消化器病理学、皮膚病理学及び血液病理学を専門とする病理検査サービス大手であり、テキサス州アーバイン、マサチューセッツ州ニュートン及びアリゾナ州フェニックスの 3 ヶ所に設けられた最新の検査機関から米国各地に検査サービスを提供しております。CDx 社のサービスは、米国中の 3,700 人を超える外来診察医師によって利用されており、CDx 社の検査機関には 1 日あたり 3,500 人の患者の病理検体が検査のために送られてきます。最先端の技術を備え、70 人を超える一流の病理学者を抱えている CDx 社は、最高レベルのクオリティとサービスを常に維持することで、米国中の医師の信頼を得るに至りました。また、この 6 年間における売上高の年平均成長率は 40%という高い数字を記録しています。

みらか HD は、その子会社である富士レビオ株式会社を通じて 100 を超える国々に臨床検査薬を供給しており、別の子会社である株式会社エスアールエル（以下「エスアールエル」といいます。）を通じて、先端技術と日本全国を網羅するネットワークを活用した受託臨床検査事業を展開しています。みらか HD の海外進出戦略の一環として実施される CDx 社の買収は、日本とは異なり規模が大きく安定した成長をみせている米国の病理検査市場に対してみらか HD が進出していくための大きな第一歩となります。そして、みらか HD としては、この買収によって確立できた基盤をベースに、内外の事業機会を開拓することによって米国市場における地位を強化していきたいと考えております。

みらか HD の代表執行役社長である鈴木博正博士は、「David（Caris の会長兼 CEO である David Halbert 氏）はチームと共に常に質の高いサービスと技術を追求し最高レベルの治療体制を目指す会社を作り上げてきた。我々みらか HD も同様のビジョンを信条としており、今後 CDx 社と同じ目標に向かって協力していくことを非常に楽しみにしている」とコメントしています。

2005 年以來、Caris Life Sciences は独創的で学術的に優れた病理診断を開発し、より良い診断を通じて患者のケア向上に努めてまいりました。また、当社は、Caris Target Now という、科学的根拠に基づく分子プロファイリングサービスを行っております。このサービスは、患者の腫瘍から得られた分子データと臨床文献から導かれたバイオマーカー/製薬団体のマッチングを行うものであり、その結果は、どの治療は効果がないと思われるか、またどの治療を選択すると反応が出やすいか、等を一覧にしたレポートとなります。さらに、Caris 社は現在、同社が特許を有する Carisome™プラットフォーム（癌等の治療困難な病気の診断、予後判定及びテラノーシスを行うための占有血液検査技術）を利用した様々な血液検査の開発に取り組んでいます。

Caris の会長兼 CEO である David Halbert 氏は、「このような志を同じくする経営者に病理サービス事業が買収されることをうれしく思う。みらかは、良い診断を通じて世界的に医療を変えていくという我々のビジョンを共有しており、Caris 社の信条である、高品質を保つことに専心してきた。この合意はまた、重要な日本市場で、Caris Target Now や Carisome™プラットフォームに関連する潜在的な事業提携の機会を生むきっかけとなるであろう。この買収の直接的な結果として、みらかの指揮下で病理事業が成長すること、また分子診断、予後判定、テラノーシスの分野でも成長と成功をとげることを楽しみにしている」とコメントしています。

みらか HD による本件買収の実行は、TargetNow 事業及び Carisome 事業の分離を完了することなどのクロージング条件を満たすことを条件としております。

みらかホールディングスについて

みらかホールディングスは、医療関連分野にて事業を行う持株会社で、グループ全体では 1,657 億円（2010 年 3 月期）の純売上高を誇り、国内有数の臨床検査薬メーカーである富士レビオ株式会社及び日本最大手の検査センターである株式会社エスアールエル（以下、「エスアールエル」）等の子会社を通じて、①臨床検査薬の開発・製造・販売、②受託臨床検査及び③その他のヘルスケア関連事業の三つの事業を行っております。特に、エスアールエルでは、一般検査から遺伝子検査等の特殊検査まで総合的な受託臨床検査サービスを日本全国の医療機関に提供しております。

Caris Life Sciences について

Caris Life Sciences は、腫瘍学、皮膚病理学、血液病理学、消化器病理学及び泌尿器病理学の分野において、最高品質の病理検査、分子プロファイリング及び血液検査技術の開発及び商用化に特化したバイオサイエンスの大手企業です。同社は、病理学の研究にも携わる業界屈指の専門家チームにより、一日何千人もの患者に対して最新理論を踏まえた診断を行っております。また、予後検査サービス及びゲノム、トランスクリプトミクス、プロテオームのプロファイリングを通じて検体の分子解析を行い、癌治療の現場を支えています。現在は、特許取得済である Carisome™プラットフォーム（癌等の治療困難な病気の診断、予後判定及びテラノーシスを行うための占有血液検査技術）を利用した様々な血液検査の開発に取り組んでおります。同社

は本社をダラスフォートワースメトロプレックス地区に構え、本社、アリゾナ州フェリックス及びマサチューセッツ州ボストンの都市部において検査機関の運営を行っています。